

無散水消雪施設を整備しています。

無散水消雪施設とは

道路の中に放熱管を埋め、この放熱管の中に地下水を送って、地下水の持つ熱を効率よく路面に伝えることにより、雪を融かし路面の凍結を防ぐ消雪方法です。

【全体計画】(下の区)

電線共同溝 L=600m

無散水消雪工(歩車道) L=600m

※歩道(両側)と車道を合わせた施工延長です。

【H28工事概要】

無散水消雪工(歩車道)

L=400m

※歩道(両側)と車道を合わせた施工延長です。

【現場状況】

- 散水施設(道路中央部)を取り壊し仮舗装が完了しました。
- 8月より車道部の舗装取り壊し作業を行いますので、通行の際は、ご協力をお願いいたします。



散水施設(道路中央部)を取り壊し仮舗装の状態です。

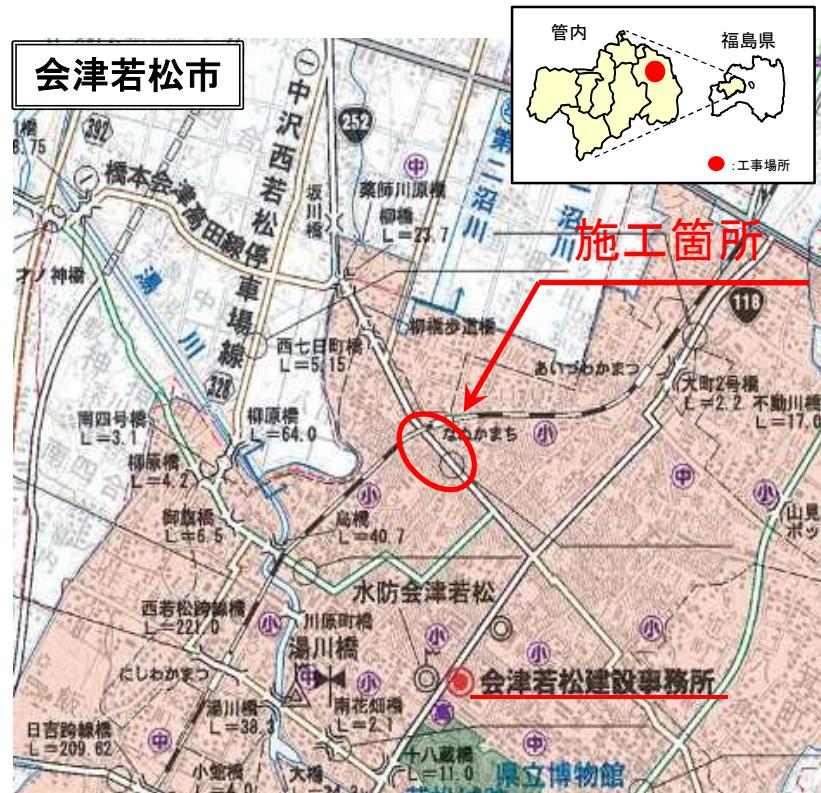


※7月22日の状況写真です。



※この事業に関するお問い合わせ先

会津若松建設事務所 道路課 TEL)0242-29-5440



無散水消雪の特徴

- 路面に散水がないので、降雪時の通行・歩行が快適になります。
- 舗装面の傷みが少なくなります。



完成予定日
平成29年3月下旬